

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.159
2021.1

くしろ丹頂

迎春



今年は
わたしの年!!

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
 - 代表理事組合長 武藤 清隆 ————— 1
 - 北海道農業協同組合中央会会長 小野寺 俊幸— 2
 - 代表理事専務 千葉 喜好 ————— 3
 - 釧路丹頂農業協同組合酪農振興会 会長 對木 隆司
 - 釧路丹頂農業協同組合青年部 部長 松下 雅幸
 - 釧路丹頂農業協同組合女性部 部長 武藤 和江— 4
- 組合員組織 ————— 5・6
- 謹賀新年丑年「牛」クイズ ————— 7・8
- 年始日程表 ————— 9

参 勤 監 事	常 外 監 事	員 表 監 事	代 表 " " " " "	理 務 理 事	常 務 理 事	代 表 理 事 専 務	代 表 理 事 組 合 長	会 長 理 事					
坂 石 本	寺 動	齊 下	折 藤	成 笠	藤 田	對 澤	大 木	五 坂	十 嵐	白 木	千 葉	武 藤	瀧 澤
他 職 員 一 同	克 信	弘 和	則 哉	夫 行	弘 行	則 哉	夫 行	則 哉	夫 行	則 哉	夫 行	則 哉	夫 行

謹んで新春のお慶びを申し上げます



年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長 武藤 清隆



組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとう御座います。希望に満ちた令和3年の新春を、御家族お揃いで迎えられる事を心よりお慶び申し上げます。

されました。改めて、先頭に立つて対応頂いた指定団体であります。ホクレンをはじめ関係団体、行政機関の皆様、更には多くの消費者の皆様にも心より感謝を申し上げます。

昨年は、およそ想像もしていなかった新型コロナウイルスの蔓延により世界中が大混乱に陥りました。一時終息に向かっていたにもかかわらず、11月頃より第3波といわれる感染の広がりにより医療現場が逼迫状況となり大変な危機感を覚えました。政府も感染抑制と経済循環との間で右往左往の状況であり

ここで私達生産者は、考えなければなりません。今回の対応がなるとなく出来たものでは決していない事を!!特に指定団体の役割を今一度理解する必要があると思えます。我々が生産した生乳が一滴残らず決まった価格で販売出来るのは、日々変動する需給のバランスを取りながら、有利販売に取組む現在の仕組みがあるからです。これは疲弊した酪農業界をなんとかして立て直さなければという先達の固い決意の賜物と言っても過言ではないでしょう。

間違った対応を願うものではないです。私達の業界も政府が発した緊急事態宣言により、全国の学校が一斉に休校となり、一日千八百トンにも及ぶ給食需要がなくなり需給バランスが一気に崩壊しました。一時は業界全体に緊張感が走りましたが、政府の間髪入れずの対応と業界挙げての対応により、生乳廃棄という最悪の事態は回避

一昨年成立した畜安法の改正により、二股出荷等のいいとこどり、各所で発生し多くの混乱を招きました。決して今の制度が完璧という事はないでしょう。改善すべきはしっかりと、より良い

い仕組みにしていかなければと考えます。それには、組合員は同じ方向を見なければなりません。農協の組合員として今何をし、どう行動しなければならぬか、今一度熟考して見る必要があるのではないかと思います。

さて、昨年は6月に機構改革の実施、金融窓口(幌呂支店・音別支店)の効率店舗化、購買店舗(音別店・鶴居店)のAマート化の取り組み等々多くの改革に取組ませて頂きました。新制度という事で職員には負担を掛け、組合員の皆さんには不便をお掛けしましたが、お陰様でこれまで大きな混乱もなく推移して参りました。皆様の御協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後の更なる御理解御協力を宜しくお願います。

昨年9月に突然政権交替がなされました。菅新総理は、前政権の考え方を踏襲するとし、残念ながら新自由主義という強いものだけが生き残ればという考え方が引き継がれてしまいました。世の中決して一人では生きてはいけません。ましてこのコロナ禍では尚更です。それとは正反対の考え方が協同組合です。ユネスコの世界遺産として登録され、高く評価されている協同組合の精神を今一度思い起こしてみる必要があるのでは

ないかと思えます。自助・共助・公助、菅総理が政権発足時に口にした言葉です。一部批判的な論調もありましたが、私は考え方として決して間違っていないとは思いません。まず自らの考えで出来る事はやる、出来ない場合は仲間と助け合いそれでも足りない場合は農協や行政に協力を求める。これが自然の姿だと考えます。

今年、多くの組合員が自らリスクを背負い前向きな投資・取組みが展開されています。結果も徐々に表れ、第3期中期計画で立てた生乳生産11万トン達成も視野に入ってきました。今年日本にとってオリンピック開催というビッグイベントがあります。これを何としても成功させ、コロナ禍で落ち込んだ経済、マインドがポジティブなものになる事を祈るものです。不平を言う前に自ら行動しましょう。結果は必ずついて来ます。農協としまして、前向きな取組みには全力で支えて参ります。ともに頑張りましょう。結びに、一日も早くコロナ禍が終息します事と組合員・職員の皆様の御健勝と更なる御活躍を御祈念申し上げ年頭の御挨拶とさせていただきます。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺俊幸



新年あけましておめでとうござ
います。

たと感じております。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

しかしながら、昨年は、新型コロナウィルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベ

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

ントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることが出来

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGRICULTION! HOKKAIDO (アグリアクション北海道)」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRICULTION! HOKKAIDO」は次の3つのテーマを伝えることを目的としております。

③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様には感謝を伝えること

①食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起

本年は第29回JA北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農とでつながるサポーター550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名）

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穡の年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

「パラレルノーカー」と命名）

年頭のご挨拶といたします。



新年にあたり

鈞路丹頂農業協同組合

代表理事専務 千葉 喜好



新年あけましておめでとうござ
います。

組合員の皆様には輝かしい新年
を迎えられたものとお慶び申し上
げます。

昨年、新型コロナで始まり五
月の連休まで、夏まで、年末には
と期待しながら一年が過ぎてしま
い、何時コロナが終息するのか予
測できない状況です。

令和二年の気候を思い出してみ
ると、冬は穏やかに過ぎ春を迎え
たのですが、一番草の収穫時期の
天候が不安定となり、作業の遅れ
などによって品質は不良となりま
した。しかし、その後の気候は安
定して二番草・デントコーンの収
量、品質共に良く今後の生産乳量
には期待できると感じております。
組合員の取組みとしては、将来
へ前向きな投資が続いており、幌
呂地区のTMRセンターが八月か
ら飼料の供給を始めております。
今後労働時間の軽減、生産拡大に

貢献する事を期待しております。

また令和二年は、二戸の大型農場
がロボット搾乳をスタートしてお
り、令和三年春には更に二戸の農
場がロボット搾乳を始める予定で
す。決して今後不安がない状況
ではありませんが五年後十年後の
北海道酪農を考えた結果での投資
であり、農協にも指導・支援が求
められるでしょう。

昨年は、生活店舗のAマート化
の取組みを総会で承認頂き、十月
鶴居店、十一月音別店の冷凍機の
更新や内装工事等を実施し、予定
通り開店する事となりました。開
店までの二週間、組合員・地域の
皆様にはご迷惑をお掛けしました
が、職員の協力・ホクレンの支援
また自治体の支援も頂き、無事
オープンの日を迎えることができ
ました。農協役員として心からお
礼申し上げます。今後生活店舗の
更なる改善に向けて組合員の協力
を頂くこととなりますのでよろし

くお願い致します。

令和三年度は、育成牧場の預託
施設の移転新設について議論を急
ぐ事、実現に向けて取組む事にな
ります。この件は、農協事業とし
ての取組みを考えておりますが、
預託を希望される組合員の協力・
運営に対する責任も重要であり、
それらについても十分組合員との
議論も今後必要となりますのでよ
ろしく願います。

昨年、搾乳を中止された農家が
五戸程あり、農地は拡大を進める
農場が利用されております。今後
も離農は避けられないと考えら
れ、地域活動や残された農場にも
支障があります。全道で新規就農
が必要で、当農協の支援も更に充
実した内容を考えなくてはなりま
せん。農家としては、若い世代が
魅力を感じてくれる農場作り・農
村環境作りなど待っているのでは
なく酪農の良さをアピールし、若
い人達に自分の人生を家族と共に
農村で生きてみたいと思ってもら
える環境作りが求められます。

昨年、毎日普通に使用している
物が中国を中心とする海外に依存
していることに、改めて気付いた
年でもありました。食糧が自給率
四割を切る事も不安です。しかし

日本では捨てられる食糧が五割と
も言われています。また、畑の野
菜なども形・大きさなどで捨てら
れる物を考えると、日本がもう少
し食品ロス減に取組むことで自給
率が五割以上となります。

近年地球環境について世界が対
策を研究する中、アメリカの対応
の変化に心配しましたが、また世
界と協力する方向に向かっていま
す。又、ニュージーランドのフォン
テラ社がカーボンニュートラルの
牛乳の販売を開始します。日本の
農業も環境について、アニマルウェ
ルフェアなど世界の取組みに遅れ
をとらないようにしたいものです。

中央会の前会長飛田氏が「新型
コロナウイルスの発生は、これまで
の社会経済が追求してきた集中と
効率化の欠陥が招いた感染とみる
べき。欠陥は常にリスクを背負い
続ける。コロナが終息しても別の問
題が出てくる。地球温暖化の問題
を含めて、世界レベルの視野で考え
るべき課題」と言われています。

今年にはコロナの終息を願うこと
と地球に生きる人間の生活・経済
活動が地球環境にどの様な影響を
及ぼすのか、酪農も見直すことが
ないのか、もう一度考える年にし
たいものです。



新年のご挨拶

鉦路丹頂農業協同組合酪農振興会

会長 對木 隆司

新年明けましておめでとうございます。酪農振興会の皆様には、令和三年をご健勝でお迎えの事とお慶び申し上げます。旧年中は、会員の皆様方をはじめ諸関係機関の多大なるご協力を頂き誠にありがとうございました。

昨年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい世界中に蔓延するという思いもかけない事態となり、医療や経済そして生活様式まで一転する激動の一年となりました。

そのような状況のもと、昨年は少しでも感染を予防するためにマスクを配布し、会員の親睦を図るボーリング大会や鶴居の協栄農場とTMRセンター（トイピリカ）の視察を例年より短時間で行いました。協栄農場では、導入されて間もないデラバル社のロータリー型搾乳ロボットを見学させて頂き、農場の大規模化や労働力の省力化について考察しました。トイピリカでは、収穫作業の効率化と飼料供給の低コスト化を追求し、今後の規模拡大とゆとりある運営を目指されていることがわかり、大変勉強になりました。

さて、昨年から続くコロナ禍は未だに予断を許さず、皆様も多方面においてご苦労されているのではないかと思います。今のところ幸い生乳に大きな影響はない様ですが、今後の外食産業の不振による在庫の増加や肉用子牛の価格低下等が心配です。よって例年以上にコストダウンを心がけた生乳生産をしなければならぬと感じています。

最後に、今年も二月に酪農祭を開催する予定です。本年も酪農振興会の事業を通して会員相互の関係がより強固で良いものになるよう事業を進めて参りますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年にあたり

鉦路丹頂農業協同組合青年部

部長 松下 雅幸

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中は新型コロナウイルスの影響の中、組合員の皆様、関係機関の皆様には、特段のご支援、ご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

昨年の青年部活動としましては、店頭での乳製品消費拡大運動に替えて、6月に地元元小中学校へのヨーグルトの無償提供を女性部と合同で実施し、授業が始まった子供たちへ生産者からエールを送りました。例年展開している様々な事業を自粛しつつ、少しでも青年部らしい活動ができればと10月にソフトボール交流会のみ開催し、数ヶ月ぶりに互いの近況など情報交換が出来ました。又、12月には全道JA青年部大会がオンライン形式で開催され、基調講演・パネルディスカッション等がインターネット上に配信されました。今後このような新しい様式への対応が増えて参りますので、積極的に情報通信技術の導入を図る事も必要と認識できました。酪農業界に限らず、先行き不透明で厳しい情勢ではありますが、我々青年部は国民の命を守る「食」に携わる者として、その重要性や地域社会を担っていくという強い信念を持ち、活気あふれる青年部活動を行って参りたいと思います。

最後になりますが、本年も組合員そして関係機関の皆様方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

鉦路丹頂農業協同組合女性部

部長 武藤 和江

部員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの影響で、いつもと違った思いで正月を迎えられた中でも、元氣でお越しの事と推測致します。

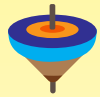
昨年の女性部活動は、初めて経験する書面議決での総会、オンライン会議と今迄に無い事と成りましたが、中でも、六月に青年部と合同で地区の小中学校に対し、よつ葉ヨーグルトを無償提供し、地域医療支援募金及び、七月豪雨災害支援募金への協力を致しました。

十一月に鶴居・幌呂、白糠、音別で三日に渡り、もの作り講習会（リース・メ縄作り）を開催し、コロナ禍の中での行事の為、部員・事務局共に万全の対策で臨み、その後二週間も不安では有りましたが、何事もなく、無事終える事が出来ました。

単組行事では、乳製品消費拡大運動の一環で、料理講習会も行い、乳製品の良さ・食の大切さを実感しながら食し、これからも高品質の生産に力を入れる事を再認識しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域（コミュニティ）のあり方や、人と人とのつながりの意味を考えさせられる切っ掛けと成りました。

今年度は、新たなJA女性組織活動の中に、withコロナ時代においても「できることから」を合言葉に取り組み、一歩ずつ活動する中でもSDGs（エスディーズ）をもっと知る事で、それに伴う活動を考えます。活動内容、又形態は変わっても、食と農、地域の活性化のため、会員の皆様と共に協力し合い、JA運営に参加・参画を進めて参りますので、女性部員の皆様の積極的な活動に、期待致します。

最後になりますが、本年も関係機関の皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、早くコロナが終息し、安心して活動が出来る日々が来る事を祈り、新年のご挨拶とさせていただきます。



JAくしろ丹頂組合員組織



あけましておめでとうございます。

<p>釧路丹頂農協女性部</p> <p>部長 武藤和江</p>	<p>釧路丹頂農協青年部</p> <p>部長 松下雅幸</p>
<p>釧路丹頂農協酪農振興会</p> <p>会長 對木隆司</p>	<p>釧路丹頂和牛改良組合</p> <p>組合長 菊地和広</p>
<p>釧路丹頂農協馬事振興会</p> <p>会長 江崎勝三</p>	<p>釧路丹頂農協乳牛改良同志会</p> <p>会長 林稔幸</p>
<p>外国人研修生受入協議会</p> <p>会長 伊藤順一</p>	<p>幌呂大型機械利用組合</p> <p>組合長 大碓晋二</p>
<p>鶴居宮農組織代表者協議会</p> <p>会長 合田徳三</p>	<p>鶴居村乳牛検定組合</p> <p>組合長 松井俊治</p>



JAくしろ丹頂組合員組織



本年もよろしくお願ひ申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 菱 沼 和 也

白糠町乳牛検定組合

組合長 影 山 純

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 北 村 康 浩

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 菅 原 善 伯

白糠町野菜生産組合

組合長 細 谷 照 雄

白糠町農民組合

執行委員長 中 河 敏 史

白糠町農村青少年クラブ

会 長 細 谷 亮 太

謹賀新年 丑年「牛」クイズ



新年明けましておめでとございます。
今年の干支（えと）は丑（うし）。牛にちなんだクイズをお楽しみください。

Q1

日本で飼育されている
乳牛と肉牛の頭数は
どっちが多い？

- 乳牛
- 肉牛



Q3

牛乳のおいしい
季節は？

- 夏
- 冬

Q4

日本で一番多い
乳牛の種類は？

- ホルスタイン種
- ジャージー種



Q2

日本の都道府県で
一番、生乳の
生産量が多
いのはどこ？

- 北海道
- 熊本県



解答

A1 肉牛

日本で飼育されている乳牛は135万2000頭、肉牛は255万5000頭と肉牛の方が多です（2019年）。乳牛は雌のみのため、乳牛から生まれた雄は肉牛として飼育されていることも、肉牛の方が多い理由の一つといわれています。

A2 北海道

北海道は生乳の生産量が404万t（2019年）で日本一！生乳とは搾ったばかりの乳のことで、牛乳は生乳を殺菌した飲用乳です。日本で生産される生乳は731万tにも上ります。北海道で生産された生乳は、牛乳以外にもチーズやヨーグルトなどの加工品になります。

A3 冬

牛は気候や温度、湿度などの環境の変化を受けます。乳牛の故郷は寒冷地であるため寒さには強く、冬に餌をたくさん食べて体に脂肪を付けます。冬の牛乳は脂肪分が高く濃厚な味がして一番おいしいといわれます。夏は餌を食べる量が減るため脂肪分が少なくなるといわれ、さっぱりとした口当たりです。

A4 ホルスタイン種

白黒のぶち模様のある牛がホルスタイン種です。日本で飼育されている乳牛の99%以上を占めています。ホルスタイン種の次に多いのはジャージー種。ホルスタイン種と比較してとれる乳量は少ないですが、乳脂肪分は高く濃厚な味です。

A5 X

脂肪分が0・5%未満の場合に無脂肪乳といい、脂肪分は0%ではありません。低脂肪乳は脂肪分が0・5%以上1・5%以下で生乳から成分（水分、脂肪分など）の一部を除去した物です。牛乳は生乳100%かつ成分無調整の物をいいます。



Q5

無脂肪乳の
脂肪分は0%である。

- ○
- ×

Q6

日本の牛乳輸入量の
割合はどのくらい？

- 0%
- 20%
- 50%

Q7

日本で牛乳が発売された
当時はどんな容器だった？

- ガラス瓶
- ブリキ缶
- 紙パック



Q8

牛乳を温めるときは
電子レンジで加熱した方が
栄養素が多くとれる。

- ○
- ×



Q9

日本でアイスクリームが
食べられ始めたのは
いつから？

- 平安時代
- 明治時代



Q10

チーズには2種類ある。
ナチュラルチーズともう一つは？

- プロセスチーズ
- カマンベールチーズ
- クリームチーズ

A6 0%

牛乳は自給率が100%の食材です。つまり、日本で販売されている飲用の牛乳は全て国産。牛乳は生鮮食品なので輸入に頼ることが難しいのですが、チーズなどの乳製品を含めても自給率は60%以上と他の食材と比較して高いのです。

A7 ブリキ缶

日本で牛乳が一般的に発売されるようになったのは明治初めの頃。大型のブリキ缶で運んだ牛乳をひしゃくですくって5勺(90ml)ずつ量り売りしていました。1888(明治21)年に衛生的なガラス瓶が用いられるようになり、紙パックで販売されるようになったのは1956(昭和31)年になってからです。

A8 ×

牛乳に含まれる栄養素であるタンパク質、ビタミンAなどは加熱に強い栄養素ですが、電子レンジで加熱すると急激に温度が上昇するため、ビタミンB2の量が半減してしまいます。牛乳を温めるときは鍋に入れて、ゆっくり加熱すれば栄養を損失しにくいのです。

A9 明治時代

平安時代に「削り氷」という氷菓が記録されていますが、アイスクリームが食べられ始めたのは明治時代になってから。1869(明治2)年に町田房蔵が横浜の馬車道で日本初の「アイスクリン屋」を始めました。当初は高価でしたが、1921(大正10)年にアイスクリーム製造専門の工場ができ、多くの人が買える価格になりました。

A10 プロセスチーズ

ナチュラルチーズは生乳から水分を除き、10倍に濃縮して発酵熟成させて作ります。カマンベールチーズやクリームチーズなどはナチュラルチーズの一種。一方プロセスチーズは、ナチュラルチーズを加熱してスライスチーズなどいろいろな形に加工した製品です。

JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	各地区の事務所			販 売	家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農					
令和3年 1月1日(金)								通常業務
1月2日(土)					業務始め*			
1月3日(日)								
1月4日(月)		業務始め						
1月5日(火)				業務始め・初生集荷				
1月6日(水)	業務始め		業務始め					

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
令和3年 1月1日(金)											
1月2日(土)							業務始め*				
1月3日(日)		業務始め		業務始め*							
1月4日(月)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(火)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1月6日(水)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営業日	休業日
-----	-----

◆人工授精業務、年末年始の対応について
 ・1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分（厳守）対応となりますので、よろしくお願い致します。

・万一、交通事故が発生した時は、

JA共済事故受付センター

事故等の場合には

ジコは クミアイ

0120-258-931

JA共済サポートセンター

レッカー移動や故障時の
 応急対応が必要な場合には

レッカーロードサービスは クミアイ

0120-063-931

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。 公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

編集後記
 EDITOR'S NOTE



□新年明けましておめでとうございます。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行は、酪農業界へもその影響が大変懸念されております。牛乳・乳製品・牛肉などの消費拡大PR運動は、昨年大きな輪となり重点的に実施され、多くの皆様方のご理解により難局を乗り越えてきた経緯がありますが、需給バランスがまたどうかたちで崩れるかという心配は尽きません。JAグループが一丸となり取り組んできた550万人サポーター作り等に向け、組合員及び地域の皆様方とともに取り組んで参りますので今後ともよろしくお願い致します。本年が皆様方にとりまして良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。(久保田)

Instagram
 ID→jakushirotancho



JAくしろ丹頂ホームページ

